

## つくばね vol.25no.2

## 目次

- I **フンボルトとリッター**
- 3 **シリーズ・電子ジャーナル(2)**
- 5 **Ask Us としょかんミニガイド**
- 7 **本学教官寄贈著書紹介**
- 8 **私の一冊**
- 9 **とびっくす**
- 10 **平成11年度筑波大学附属図書館開館日カレンダー**
- 10 **掲示板**

## フンボルトとリッター

手塚 章

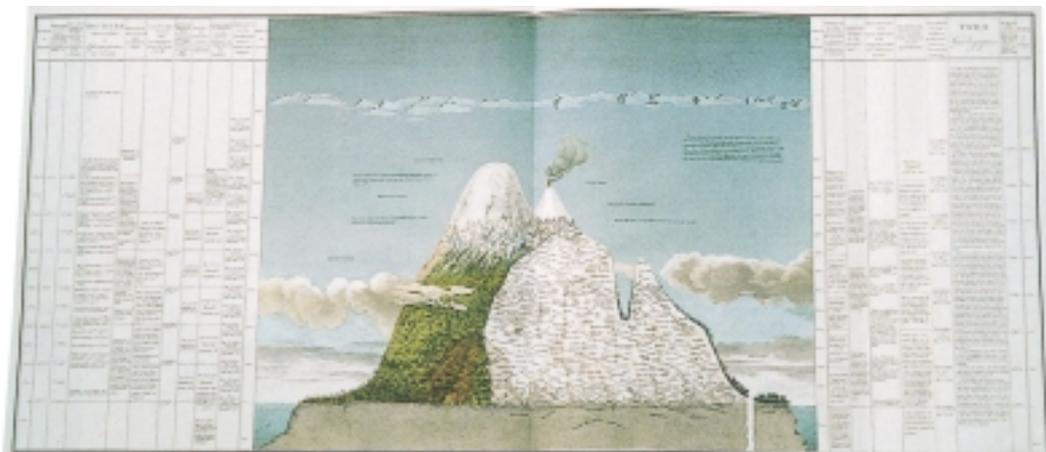
私の研究分野(人文地理学)と図書館資料の関係について、が与えられたテーマであるが、以下では筑波大学附属図書館とのごく個人的な係わりを中心に述べてみたい。

表題にかかげた2人は、18世紀末から19世紀の前半にかけて活躍した著名な地理学者であり、「近代地理学の父」として現在もよく紹介される。彼らがいかに有名かは、没後百年の1959年に日本地理学会・東京地学協会主催の「フンボルト・リッター100年祭」が行われたことに表れている。外国人地理学者に対して、この種の催しは2人以外に考えづらい。

もっとも、フンボルトについていえば、単に地

理学者と呼ぶわけにはいくまい。彼は何よりもまず博物学者であり、またドイツを代表する大旅行家であった。また、フンボルト財団の招へいでドイツに滞在した数多くの研究者にとって、フンボルトが地理学と係わっていたことなど、恐らく想像の彼方であろう。

地理学の世界でそれほど有名であったにもかかわらず、私と2人との付き合いは古くない。きっかけは1984年に図書館の大型コレクションとしてフンボルトの「新大陸における熱帯諸地域への旅行(全30巻)」(復刻版)(Voyage de Humboldt & Bonpland; voyage aux régions équinoxiales du nouveau continent) [450.955-H98] が購入されたことで



フンボルト「アンデスとその付近の自然図」(1808年)

ある。命じられてその申請書を作成した私としては、5階の大型書架に豪華本が並べられるや、何度も足を運んだものである。

それまで「地理学史」の講義で聞かされてはいたが、ちょっと古すぎると思ったせいか、ほとんど関心を持たなかったフンボルトが、急に身近な存在になった。読んでみると、なかなか面白いし現代に通じる箇所も多い。ちょうど当時は、地理学方法論の古典を系統的に読み直す作業をしているところであった。そこで、検討対象の時代をほぼ百年さかのぼって18世紀末からとし、フンボルト（と必然的にリッター）の文献を集めだしたわけである。

その成果が1991年に刊行した『地理学の古典』であるが、内容の3分の1をフンボルトとリッターに割り当てた。成立過程からいえば、いわば付加的な部分といえる。しかし、反響が大きかったのは、むしろこの部分で、とくにフンボルトについては多くの方々からお褒めの言葉をいただいた。日本に多くのフンボルト・ファンがいることを再認識したしだいである。

たしかにフンボルトの文章は、現代人にも十分に面白い。彼のもう一つの代表作である「コスモス」は、発売と同時に書店に列ができたという伝説があり、ベストセラー化した世界初の科学書といわれている。いってみれば偶然にフンボルトと出会った私であるが、それからというもの折りに触れてはその著作に読みふけた。

『地理学の古典』ではフンボルトの地理学方法論に焦点をあてたが、作家としての彼の本领がそこにあるわけではない。むしろ、おびただしく残された文章のうち、方法論的な考察はごくわずかなものである。フンボルトの魅力は、フィールドワークに基づく景観や地域社会の具体的な記述にある。こうした観点から編纂したのが『続地理学の古典：フンボルトの世界』で、その中心をなしているのは1799～1804年に行われた熱帯アメリカ旅行である。そこでは、中央図書館に並んでいる30巻本を十二分に活用させていただいた。

したがって、ことフンボルトについては、その

原典の多くが筑波大学の図書館に所蔵されている。「コスモス(全5巻)」(KOSMOS)も一部欠けてはいるが、主要な部分を見ることができる。また『続地理学の古典』にその一部を収録した名著「自然の姿」も、中央図書館で見ることができる。もちろん、重要な文献で欠けているものも多く、国会図書館や他大学の所蔵文献で補う必要がある。しかし、フンボルト関連文献の充実度からいえば、筑波大学はおそらく日本一ではないかと思う。

他方、リッターに関しては、事情が多少こみいつている。結局のところ、『地理学の古典』に収録した文章の原典は、筑波大学の図書館ではなく国会図書館で入手した。また、リッターを代表する大著「地理学(全19巻)」(Erdkunde)にしても、筑波大学には飛び飛びに数冊あるだけで、全貌をうかがうには程遠い。東京大学と京都大学の地理学教室がこの膨大な著作をほぼ完全なかたちで所蔵するのに対して、はなはだ見劣りがする。

先輩にいわせると、かつての東京教育大学では、きちんと揃っていたそうである。筑波移転のどさくさに紛れて、他の貴重図書とともに多くが行方不明になったという説明であった。もっとも、学部学生時代を東京教育大学ですごした経験でいうと、地理学教室の図書室でそれらを目にした記憶がない。当時から現物はあちらこちらの研究室、あるいは教官(もと教官)の書齋に散らばっていたのではないか。移転にさいして、それが表面化したのが事の真相ではなかったらうかと思っている。

現在でも図書の紛失はあるだろうが、移転前とは比べものになるまい。自由に利用でき、きちんと管理するという点で、現行のシステムはなかなか優れている。難をいえば、東京教育大学からの移送図書がまだ別扱いで、中央図書館の1階に眠っていることである。新旧の蔵書が統合されれば、単なる足し算以上の効果を発揮するであろう。

以上、フンボルトとリッターにからめて、図書館と私とのささやかな接触を述べた。もちろん、地理学の分野として、これはいささか異例の部類に属するであろう。

通常の研究プロセスにおいて、最も一般的に使

われる図書館資料は国際学術雑誌である。現在、筑波大学が購入している地理学関係の学術雑誌は、その質と量からいって日本最高のレベルにある。筑波大学は、地理学分野における日本最大の研究センターであり、本学で育ち全国各地に散った地理学研究者が最新の文献を求めて中央図書館詣でをすることもまれではない。

しかし、同時に、東京高師・文理科大学からの伝統を引き継ぐ筑波大学には、過去の貴重な文献資料が眠っている。引越しにともなう多少の散

逸はあるが、その遺産は地理学分野に関するかぎり、東京大学・京都大学の両地理学教室図書室とともに、日本3大蔵書の名にあたいしよう。『地理学の古典』は韓国語版が出され、『続地理学の古典』についても近く刊行の予定であるが、その準備にあたられた韓国の地理学研究者が来日されたおり、中央図書館で当該の原典にじかに接していただいた。それは、筑波大学にいるわれわれが、非常にめぐまれた環境にいることを再認識させてくれる機会でもあった。

(てづか・あきら 地球科学系 教授)

## シリーズ・電子ジャーナル(2)

### 電子ジャーナルの導入をめぐる

9月から、エルゼビア社のSD-21プロジェクトへの参加に伴い、筑波大学においても本格的な電子ジャーナルのサービスが始まりました。電子ジャーナルへの取り組みは、急速に進んでいるのですが、今回は、電子ジャーナルの現況とわが国の大学における電子ジャーナル導入を巡る状況について、見ることにします。

#### 電子ジャーナル・サービスの現況

今のようなインターネット上で学術雑誌が読める電子ジャーナルの登場は、1992年10月のOCLCによるElectronic Journals Onlineが最初とされています。当初は、冊子体の存在しない、オンラインのみのものが中心でした。その後、エルゼビア社のTULIP実験計画の成果を踏まえ、学術出版社系を中心に冊子体の存在するものを電子化して提供する形態が増加し、現在ではこちらが主流になっています。米国で「電子ジャーナルの年」とされている1996年には、各社の電子ジャーナルが相次いで提供され、実験段階から大きく実用段階に踏み込んでいます。

代表的なサービスとしては、学術出版社系では、エルゼビア社のScienceDirect及びEES、アカデミック・プレス社のIDEAL、シュプリン

ガー・フェアラク社のLINK、ワイリー社のInterScience、他にオックスフォード大学出版局、ブラックウェル社などのサービスも知られていません。

学協会系では、米国化学会(ACS)、米国物理学協会(AIP)、米国電気・電子技術者協会(IEEE)、英国王立化学会(RSC)、英国物理学協会(IOP)、英国電気技術者協会(IEE)などの大手が積極的に取り組んでいます。なお、IOPの刊行する35誌については、今年の秋口から、文部省学術情報センターがナショナル・サイトとなり、わが国の学術研究機関に無料提供(各機関の雑誌講読の有無にかかわらず)されることが決まっています。

さらに、スエッツ社のSwetsNet、OCLCのElectronic Collections Online、オーヴィド社のOvid Full Text、シルバークラッター社のSilver Linker(ERLの拡張版)などのように複数の出版社の電子ジャーナルを包括的に提供するアグリゲーター・サービスというのもあります。

わが国では、学術情報センターが日本の学協会誌のフルテキストを提供する電子図書館サービスを1997年4月から始めています。300タイトルに及ぶ学協会誌を提供しています。また、日本化学

会，日本生化学会，日本物理学会などの大手学会では独自にもサービスしています。

どのくらい電子ジャーナルが出ているのか，正確な数字は把握できかねますが，一説には1万数千タイトルと推定されています。ちなみに，北海道大学の図書館職員有志で作成しているオンラインジャーナル・リンク集 ([http://ambitious.lib.hokudai.ac.jp/online\\_journal/](http://ambitious.lib.hokudai.ac.jp/online_journal/))には約8千タイトルが採録されています。世界のカレントな学術雑誌は約4～5万タイトルと言われていたから，その四分の一から五分の一程度を電子的に読むことができる状況が生まれているということです。

### わが国の大学での導入状況

このような電子ジャーナル・サービスの進展に対して，わが国の大学図書館はどのように取り組んでいるのでしょうか。

1996年12月に実施された国立大学図書館協議会（加盟館 100校）の調査結果では，電子ジャーナルの導入率は予定を含めても15%でした。しかし，1998年10月に行われた学術情報センターの調査では「冊子体の定期講読によりアクセス資格を持つものを導入している」という設問に50%以上の図書館が「つけています」。また，今年の8月に実施された電子ジャーナル検討ワーキンググループのエルゼビア社のSD-21に限定した導入状況調査では，回答のあった62館中41館（66%）が導入済か導入予定で，残りは検討中でした。こうした一連の調査結果から，国立大学において急速に電子ジャーナルの導入が始まっていることが推測されます。

とはいえこれらの数字を以て，わが国の大学図書館においても，電子ジャーナルの導入が本格化していると判断するのは早計でしょう。たとえば，冊子体の講読契約とは別個に電子ジャーナルを購入するケースや，冊子体の講読価格にプラスアルファして電子ジャーナルを導入するというケースは，引き続き低率のまま（前述の学術情報センターの調査では15%程度）だからです。

つまり，冊子体の無料付加サービスには対応で

きているものの，電子ジャーナルを単独で扱うケースは，国立大学の会計制度上の問題もあり，導入契約を結ぶまでに至っていないのが現状です。もちろん，契約だけの問題ではありません。導入のための新たな経費をどう手当てするか，過去分の保存問題にどう対応するか，文献複写などの図書館協力（ILL）の問題はどうなるかなどの課題がたくさん存在するのです。

電子ジャーナルの導入問題は，個別の図書館で対応するにはあまりにも課題が多く解決困難であり，組織横断的に検討すべきであるというのは，全国の大学図書館の共通認識でしたから，本年5月，国立大学図書館協議会に電子ジャーナル検討ワーキンググループ（関東・東京地区担当）が設置され，集中的に検討されることになりました。

電子ジャーナル検討ワーキンググループでは，まず，緊急を要し，かつ複雑な契約内容をもったエルゼビア社のSD-21プロジェクトの問題に取り組み，各大学の導入の参考となる具体的な提案をしています。

また，アカデミックプレス社やワイリー社などの具体的な提案を参考に，経費モデルの検討やILLへの影響などの調査を実施しながら，電子ジャーナルの利用に係わるコンソーシアムの可能性について検討を行っています。

さらに，国立大学においては最大の課題である電子ジャーナルの導入契約の標準的なモデル作りにも取り組んでいます。

電子ジャーナルという新しい情報サービスが，利用者に対する福音であるとすれば，図書館はその導入に対し積極的でなければなりません。難しい課題を抱えてはおりますが，ひとり筑波大学図書館だけでなく，全国の大学図書館の知恵を結集して，早急に解決を図りたいと思います。



## SD-21の利用について

この9月から本運用が開始されたSD-21 (ScienceDirect 21) は、エルゼビア・サイエンス社が提供する電子ジャーナルサービスです。本学で購読している雑誌362タイトルの抄録と全文が無制限で利用できるほか、購読していない雑誌については抄録は無制限に、全文は約6,000論文まで無料で利用できます。

Q : SD-21を利用するには？

A : 学内 LAN に接続された端末から電子図書館オンライン・ジャーナルのページ (<http://www.tulips.tsukuba.ac.jp/online-j/>) にアクセスしてください。本学の購読誌については 誌名のアルファベット順のリストがありますので、そこからリンクをたどって利用することができます。非購読誌についてはSD-21のページ(<http://www.sciencedirect.com/>)へのリンクが用意してありますので、そちらにアクセスしてください。(図1)



図1 SD-21のトップページ

Q : 利用方法を教えてください。

A : トップページにアクセスしたら、group-wide login をクリックしてください。

## 1. 誌名からのブラウシング

Journals をクリックするとSD-21に収録されている全ての雑誌が主題別に表示されます。出版社別や誌名のアルファベット順に表示することもできます。購読誌には緑のアイコン、非購読誌には白いアイコンがついています。誌名、巻号一覧、各号目次の順にリンクをたどってください。(図2)



図2 目次

表示形式には以下の3種類があります。

Article : 全文 (HTML 形式)

Journal Format-PDF : 全文 (PDF 形式\*)

Summary Plus : 抄録, アウトライン, 論文中の図表の縮小されたイメージ, 参考文献のリストなど。

\*表示には、Acrobat Reader というソフトが必要です。( <http://www.adobe.co.jp/> ) から無料でダウンロードできます。

## 2. 検索機能の利用

Search をクリックすると、SD-21に収録されているすべてのジャーナルと書誌抄録データベースの検索ができます。検索には Basic と Enhanced の2つの種類があります。Basic モードでは検索項目をメニューから選ぶことにより、初心者でも簡単に検索を行うことができます。

The Basic search form helps you formulate a complex search. You are prompted to enter search terms (key words or phrases) and to link those terms together with logical connectors. The form also offers drop down lists for searching within sections ("fields") of the article to better focus your search.

Assume you have entered "cerebral and regulation" into the first box and "somat" and "stimulat" into the second, accepting the form defaults for all journals and all subjects, and specifying 1995 to the present.

In the Subject list box, you can restrict your search by selecting the journal subject classification you want to search. Note that a specific journal may be classified under more than one subject.

Now let's look at the search results.

Search for articles from our full-text collection and abstracts database using the search terms entered in the search fields, and using the action buttons to specify or default options are currently selected on the form. Use the Search Tips to learn other options.

Send feedback to ScienceDirect  
Software and compilation © 1997 ScienceDirect. All rights reserved.  
ScienceDirect™ is an Elsevier Science trademark.

図3 Basicモードでの検索

図3では、論文名、抄録、全文に「cerebral」「regulation」「somat (前方一致)」「stimulat (前方一致)」という語を含む1995年以降出版された論文を検索しています。検索語の語尾に「!」をつけると前方一致検索になります。検索のヒントは Search tips をクリックして参照してください。

検索した結果9件の論文がみつかりました。検索結果一覧(図4)で、必要な論文をお好みの形式で表示させてください。

From the article list you can choose to view an article or SummaryPlus directly, or you can check articles of interest, refining the list of articles retrieved. If you want to update the results of the search in the future, you can save your query to re-run at a later date.

The article list lets you retrieve Abstracts, SummaryPlus formats or Articles. Articles from non-subscribed journals are available for a fee (C).

Now let's save this search as an email alert.

5 Articles Found  
cut-date aft: 1994 and TITLE=ABSTR+KEY(cerebral and regulation) and TITLE=ABSTR+KEY(somat) and stimulat

944 Query | Save Query | Save as an Email Alert

Use by: user / 2023/08/08/10/10/10

1. Interactions of cholinergic and glutamatergic neuronal systems: functional activation of cerebral blood flow response: a PET at unanesthetized monkeys. *Brain Research*, Volume 706, Issue 1-2, 15 June 1996, Pages 82-90. Hideo Tsukada, Takeharu Kakuchi, Hiroshi Shizuna and Shingo T. SummaryPlus | Article | Journal Format-PDF (145 K)
2. Regulation of cerebral blood flow response to somatosensory stimulation through the cholinergic system: a positron emission tomograph unanesthetized monkeys. *Brain Research*, Volume 748, Issue 1, 27 February 1997, Pages 10-17. Hideo Tsukada, Takeharu Kakuchi, Ichiro Ando, Hiroshi Shizuna, Nakanishi and Yasumi Ouchi. SummaryPlus | Article | Journal Format-PDF (212 K)
3. Neurophysiological aspects of angina pectoris. *Zeitschrift für A. Volume 86, Issue SUPPL. 1, 1997, Pages 85-105*. Sylvan C. Abstract | \$Order Document
4. R-R interval variation and sympathetic skin response in coma, and cerebral death. *Electroencephalography and Clinical Neurophysiology*, Volume 99, Issue 4, October 1996, Pages 265. N. Marceña, G. Torre, D. Sirotti, W. Bottari and S. Salzano. Abstract | Journal Format-PDF (116 K)
5. RECENT INSIGHTS INTO THE REGULATION OF CEREBRAL CIRCULATION. *Clinical and Experimental Pharmacology and Therapeutics*, Volume 23, Issue 6-7, 1996, Pages 469-487. Brian J. J.E., Fazel P.M., Halstad D.D. Abstract | \$Order Document
6. A DENDRITIC GABA(A)-MEDIATED IPSP REGULATES FACILITATED NMDA-MEDIATED RESPONSES TO BURST STIMULATION OF FIBERS IN PERIFORM CORTEX. *Journal of Neuroscience*, Volume 17, 1996, Pages 307-312. Karler E.D., Kapur A., Haberly L.B. Abstract | \$Order Document

図4 検索結果

## 3. 印刷・ダウンロード

ブラウジングや検索で見つけた論文はプリンタで印刷することもできますし、フロッピーディスクなどにダウンロードすることもできます。検索結果または目次の画面で Journal Format-PDF をクリックしてください。PDF ファイル形式でダウンロードすることができます。ただし、系統的に大量の論文のダウンロードを行うと出版社から利用を停止されることもありますので、ご注意ください。

\*お問い合わせ先

初期設定に関する質問：電子情報係（内線2470）  
検索方法に関する質問：各館レファレンスデスク

## 本学教官寄贈著書紹介

平成11年5月～7月に寄贈を受けた本学教官の著書を紹介いたします。

(敬称略, 寄贈者五十音順, [ ]内は配架場所と配架番号です。)

青島伸治 (機能工学系)

- ・計装工学入門. 培風館, 1999 [中央 501 22-A56]

池内輝雄 (文芸・言語学系)

- ・堀辰雄. 角川書店, 1981 (鑑賞日本現代文学第18巻) [中央 910 268-H87]

河合忠彦 (社会工学系)

- ・複雑適応系リーダーシップ: 変革モデルとケース分析. 有斐閣, 1999 [中央 336 .3-Ka93]

功力靖雄 (体育科学系)

- ・攻撃のマニュアル. ベースボール・マガジン社, 1999 (アマチュア野球教本 3) [体芸 783 7-Ku48-3]

斉藤博康 (芸術学系)

- ・斉藤博康作品集. 斉藤博康, 1997 [体芸 721 9-Sa25]

桜井茂男 (心理学系)

- ・しっかり学べる発達心理学. 福村出版, 1999 [中央 143-Sa47]

品川芳宣 (社会科学系)

- ・重要租税判決の実務研究. 大蔵財務協会, 1999 [大塚 345 .19-Sh58]

田島裕 (社会科学系)

- ・土地利用の公共性. 信山社, 1999 (土地法制研究 1) [中央, 大塚 334 .6-To15]

筑波大学文化批評研究会 (文芸・言語学系)

- ・植民地主義とアジアの表象. 筑波大学文化批評研究会, 1999 [中央 910 26-Ts66]

中田英雄 (心身障害学系)

- ・Adapted physical activity : Self-actualization through Physical Activity. Shonan Shuppansha, 1999 [中央, 体芸, 大塚 378-N43]

三ツ井秀樹 (芸術学系)

- ・美のジャポニスム. 文藝春秋, 1999 (文春新書039) [体芸 757 .02-Mi64]

門田安弘 (社会工学系)

- ・日本のコストマネジメント: 日本企業のコスト構造をいかに変えるか. 同文館出版, 1999 [中央 336 .85-Mo32]

箭野育子 (医療技術短期大学部)

- ・骨・関節・脊椎に疾患をもつ人への看護. 中央法規出版, 1998 (ナーシングレクチャー) [医学 492 .936-Y58]

鷲谷いづみ (生物科学系)

- ・生物保全の生態学. 共立出版, 1999 (新・生態学への招待) [中央 468-W44]
- ・よみがえれアサザ咲く水辺: 霞ヶ浦からの挑戦. 文一総合出版, 1999 [中央 519 .813-W44]



## 私の一冊

功力靖雄

### 「アマチュア野球教本 攻撃のマニュアル」

功力靖雄著（ベースボール・マガジン社）

〔体芸図 783.7-Ku48-3〕



この本は“アマチュア野球教本”シリーズ（4巻完結，未完『試合のマニュアル』）の3巻目にあたる。その第1巻は1991年（平成3）に『練習のマニュアル』を，第2巻は1997年（平成9）に『防御のマニュアル』を既に出版している。

今回，刊行の『攻撃のマニュアル』は，著者の主張する革新的な野球理論の妥当性を検証するため，“指揮官先頭”で自ら本学硬式野球部の監督に就任して，首都大学リーグで過去22年間・43シーズンにわたり戦ってきた，各種のノーハウ（秘訣）を余すところ無く披瀝したものである。

幸いにも，その戦績はリーグ優勝3回，“大学日本一”1回（1987年秋），首位打者3名，日本代表選手5名，プロ野球入団4名，（ドラフト1位指名1名）などと多数の成果を挙げて，“首都の雄・筑波大野球部”の名を天下に轟かし，文武両道のモデル校と呼ばれるまでに育て上げた。

本書の特徴は，“攻め”の局面を確率論の立場から，各攻撃法の可能性と着眼点を究明して，

機動力の駆使，特にエンドラン戦法や多様なトリック的盗塁攻撃などの“足攻め”を中心にして，

具体的な運用上の留意点を明らかにすると共に，攻撃プレイの評価法でチェック，即ち116項目の観点から瞬時にプレイ結果の良否を採点していき，ゲーム中の活躍ぶりを個人毎にそれぞれ攻撃貢献度の点数として算出する，の3点にある。

そして各項目の最後には【ポイント】として，特に強調すべき事柄や指導上の留意点などを追加して，著者の主張が理解できるように努めた。

また，現場での実技指導やゲームの采配に役立つような，長年にわたって蓄積してきた門外不出の貴重なデータ類も，各種の図や表に纏めて【参考資料】と名付けて，多彩で豊富な打撃や走塁の連続写真と合わせ，初めて公開している。

（くぬぎ・やすお 体育科学系教授）

箭野育子

### 「骨・関節・脊椎に疾患をもつ人への看護」

箭野育子著（中央法規出版）

〔医学図 492.936-Y58〕



本書は，主に整形外科領域の患者に焦点をあてた看護の実践書である。

整形外科の診療の対象となる疾患は，筋・骨・関節や靭帯・腱，さらには血管・神経系など，身体の姿勢保持と運動機能に直接関与するものが多い。

運動機能の障害はその人の「生活」に直接影響する。障害が一時的なものであっても，障害を受

けたその時から患者は日常生活の不自由を受け入れていかなければならない。従って、整形外科領域の患者の看護は、障害による患者の「生活の不自由」に対する援助が中心となる。これまで「整形外科看護」というと、多様な疾患や治療についての知識の部分が大半を占め、看護に関しては特殊な治療に対する診療の援助であり、最も重要な日常生活援助についてはほとんど書かれていなかった。

多様な疾患や治療の特性を理解することが重要であることはいうまでもないが、看護は患者を「生活する人」として捉えていかなければならない。本書では、この考えをもとに、運動機能を障害された人の生活に焦点を当ててを念頭におい

た。

内容としては、急性期から回復期にある対象の特性や治療の特殊性を理解するための基本と、整形外科の治療を受ける患者にとって、何が必要で、どのような視点で援助していけばよいかを示したつもりである。特に、生活スタイルの変更や再構築を必要とする患者にとっては、入院中から日常生活の自立を目標とする看護が不可欠であることを重視して、できるだけ具体的に援助方法を示した。看護を実践する方々が、患者一人一人の生活を大切に、よりよく生きる手助けをして下さる、その一助となれば幸いである。

(やの・いくこ 医療技術短期大学部助教授)



〔全国〕

第46回国立大学図書館協議会総会

6月23日(水)～24日(木) 仙台国際センターにおいて、東北大学の当番で開催されました。

〔報告事項〕 国立大学図書館協議会賞受賞者選考委員会報告 国立大学図書館協議会海外派遣者選考委員会報告 図書館電子化システム特別委員会報告 国際情報アクセス特別委員会報告 著作権特別委員会報告 情報資源共用・保存特別委員会報告 図書館組織・機構特別委員会報告 国立大学図書館協議会と学術情報センターとの業務連絡会報告 国公立大学図書館協力委員会報告 日本図書館協会関連報告、ほか

〔審議事項〕 理事選出について 監事選出について 平成10年度決算報告・同監査報告について 平成10年度岸本英夫博士記念基金収支決算報告・同監査報告について 国立民族学博物館・国際日本文化研究センターの加入について 平成11年度事業計画(案)について 平成11年度予算(案)について 日米両国のドキュメント・デリバリーの試行実験について 文部大臣等に対する要望書について、ほか

〔学内〕

第219回附属図書館運営委員会(5月開催)

〔審議事項〕 平成11年度図書購入計画について、ほか

〔報告事項〕 蔵書構成専門委員会(第53回)について 附属図書館ボランティア委員会(第12回)及びボランティアとの懇談会(第9回)について 平成10年度附属図書館業務統計について 第55回関東地区国立大学図書館協議会総会について 安全管理状況の自己調査結果について、ほか

第220回附属図書館運営委員会(6月開催)

〔審議事項〕 平成10年度版筑波大学年次報告書について 附属図書館利用細則の見直しについて 貴重図書の指定について、ほか

〔報告事項〕 教育図書委員会(第28回)について 学生用雑誌の見直しについて 附属図書館ボランティア記念式・講演会について 平成11年度国立大学附属図書館事務部課長会議について、ほか

# 平成11年度筑波大学附属図書館開館日カレンダー

**10月**

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

**11月**

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

**12月**

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

**1月**

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

**2月**

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29				

**3月**

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

- 無印 中央・体芸・医学 9:00~22:00 大塚 13:00~21:10
- 中央・体芸・医学 9:00~22:00 大塚 9:00~17:00
- 中央・体芸・大塚 9:00~17:00 医学 9:00~20:00
- 中央・体芸・医学 13:00~18:00 大塚 13:00~19:50
- 中央・体芸・医学 13:00~18:00 大塚 休館
- 中央・医学 13:00~18:00 体芸・大塚 休館
- 4館とも休館

臨時休館等の場合は掲示でお知らせします。

## 掲示板

### 医学図書館からのお知らせ

和雑誌の配列がタイトルのABC順からアイウエオ順に替わり、利用しやすくなりました。なおアルファベットのタイトルは、和雑誌の一番後ろ

に配架されています。

詳しくは、医学図書館メインカウンターまでお問い合わせください。(内線 3256)